

第2章 相模線（橋本～茅ヶ崎）

第1節 9月30日（土）：橋本～入谷 晴れ／小雨

橋本（10:00）～南橋本～上溝～番田～原当麻（はらたいま）～下溝～相武台下～入谷

当初相模線については、橋本から茅ヶ崎まで一気にかけ抜こう思ったが、天候の都合で2回となった。第1回目は、平成12年9月30日（土）10時頃橋本に行き海老名駅を目指しスタートとなった。南橋本、上溝、番田まではお天気に恵まれたが、原当麻（はらたいま）を過ぎた辺りから雨に遭い、下溝、相武台下までは我慢したが、入谷の近郊で雨が一層強くなり断念し、急遽自宅まで歩いて帰る。下溝から相武台下にかけての鉄道が小高いところにあり、相模川の河口を全貌することができた。この線は単線であることもあり、のどかなローカル線の雰囲気がとても印象的であった。この時の営業距離は14.4Km、自宅に着いた時の万歩計は41,939歩となっていた。

第2節 10月7日（土）：茅ヶ崎～入谷 晴れ

茅ヶ崎(9:00)～北茅ヶ崎～香川～寒川～宮山～倉見～門沢橋～社家（しゃけ）～厚木～海老名～入谷

第2回目は、1週間後の2000年10月7日（土）9時頃藤沢経由で茅ヶ崎に行き、入谷を目指した。この線は珍しいことに相模線に乗る機会はなかった。香川駅と寒川駅を通過した時は自分が故郷の香川県にいるような気がした。ただし、香川県では寒川と書いて「さむかわ」ではなく「さんがわ」と読ませるが。



香川駅

香川駅は、現在住まい隣人の引越先場所のため懐かしさを感じた。一方、寒川駅は昔寒川神社に何回か初詣の経験があるので、この近郊に来た時懐かしく思えた。昼前に寒川神社をお参りした。社家（しゃげ）の近郊の「宝珍」でとんこつラーメンを食べる。海老名運動公園で休息。相模線唯一の無人駅である入谷には 5 時頃ついた。この時の営業は 18.9Km をマークした。自宅での万歩計は 44,726 歩だった。

以下、リベンジ旅日記を記載。

第3節 12月13日（月）：橋本～入谷 快晴

2021年12月13日（月）快晴、相模線の橋本駅から入谷駅までの営業キロ 14.4 km をリベンジする。この路線は、2000年9月30日（土）、橋本駅から入谷駅まで踏破。また、2000年10月7日（土）、茅ヶ崎駅から入谷駅まで踏破。相模線は第21編として”日本横断歩き鉄の旅”シリーズに登載予定。しかし、駅舎写真が少ないことや到着時刻の記載がないため、本日のリベンジとなった。

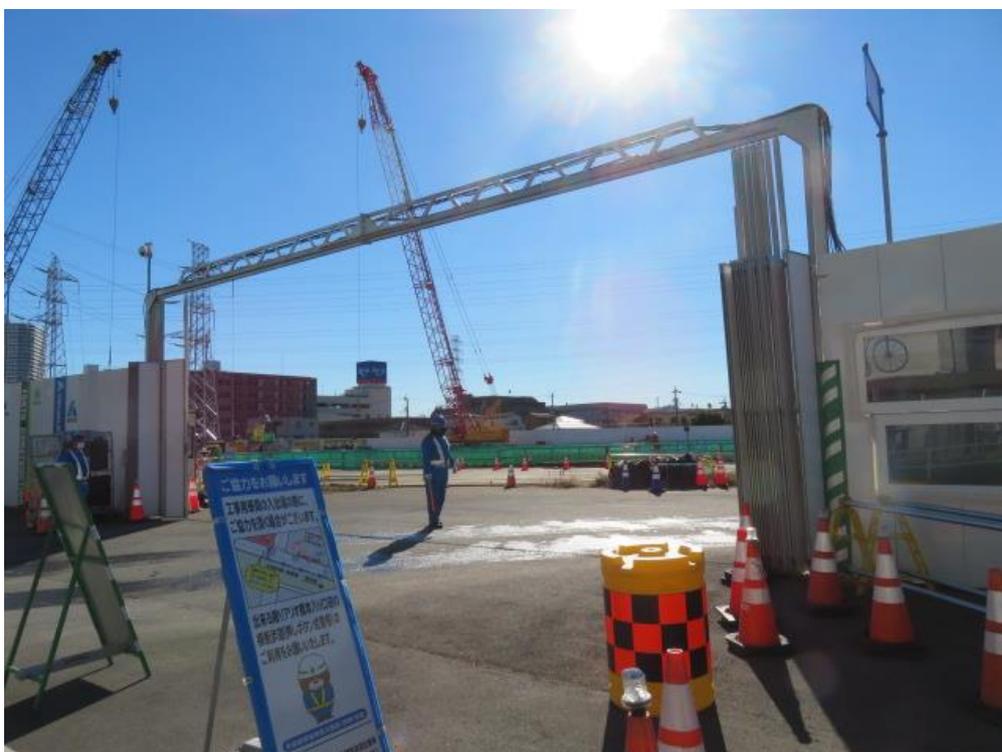


※相模線路線図（入谷駅にて）

当初は、海老名駅または厚木駅までを本日歩き終えようと思ったが、生憎、入谷駅に16時43分到着する頃には、日没目前のため、入谷駅でアップすることとした。結果的に21年前と同様、入谷駅でアップとなった。もしかすると、座間市民として最高のアップになったかも知れない。”人生とは不思議なものだ”と、今日もそう感じた。



橋本駅



※リニアモーターカーの新幹線駅

10時まで色々な用事を済ませて臨んだので、橋本駅到着は11時12分となった。本日の各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

橋本（11:12）～南橋本（11:55）～上溝（12:58）～番田（13:44）～原当麻（はらたいま、14:22）～下溝（14:57）～相武台下（15:57）～入谷（16:43）

①橋本駅南口からスタート。駅前ではリニア新幹線駅舎工事が進められていた。相模線は複線ではなく単線であった。鉄道の左側を歩く。11時36分、国道16号線が前方に立ち塞がり、大きく迂回を余儀なくされる。陸橋を渡り、国道16号線を横切る。そして、鉄道に近づいた先に南橋本駅（11時55分）があった。暑くなったので、この駅で上着の下のセーターを脱ぐ。



※南橋本駅への路、国道46号線を陸橋で渡る



※南橋本駅

②ここから暫くは鉄道の沿いの右側を歩くが、T字路に差し掛かり、右往左往する。その結果、12時27分、鉄道を跨ぎ、JR線の左側を歩く。12時58分、県道504号線に合流する。100m位戻り、JR線下を潜る。12時43分、うば川を渡る。国道129号線を経由し、再度うば川を渡った先に上溝駅（12時58分）があった。駅ホームは高架した場所であり、駅近郊は商店街に面しており賑やかであった。



※上溝駅への路



※上溝駅、小田急多摩線の延長要望看板

③少し行った先で、小田急多摩線の路線延長（唐木田駅から上溝駅）運動ポスターを見かける。小田急線沿線の住人として、もしこの路線が繋がれば、アクセスに多様性ができ嬉しいのだが。ここから、JR線の下を潜りながら歩く。13時、JR線の左側となる。13時4分、右側となる。13時15分、第四田中架道橋を経由し左側となる。13時17分、第3田中ガードを経由し、右側となる。13時21分、田中住宅前バス停（神奈中）を通過。13時24分、上溝田中公園前を通過。くねくねした道筋なので、なかなか思うように前に進めず引き返す場面が多くなる。ここで、200m位引き返えし、県道46号に合流することとする。13時29分、31歩ある千年橋（鳩川）を渡る。そして、淡々の歩いた先に番田駅（13時44分）があった。それにしても、南橋本～上溝～番田は線路に沿っ

た幹線道路がなく、営業キロ 4.4 km に 1 時間 49 分要した。しかし、路地歩きが楽しめ、面白い区間であった。



※JR 下何度も潜る、千年橋、番田駅への路



※番田駅、八王子道の標識

④番田駅から相武台下駅までは、幹線道路に沿って鉄道があり、楽であった。14 時 3 分、コンビニに立ち寄り、菓子パンと御茶を購入。少し落ち着いたので、急に空腹感を感じる。14 時 12 分、道路下を潜る。原当麻駅には 14 時 22 分到着。



※原当麻駅

⑤県道 46 号線に戻る。近くに原当麻バス停（神奈中）があった。14 時 30 分、麻溝小学校があった。この界限で 21 年前の記憶が蘇る。14 時 43 分、”八景の棚”に到着。ここからの風情は最高であった。14 時 57 分、下溝駅に到着。丁度、茅ヶ崎方面の電車がやって来る。洒落た地名である上溝、下溝の間にある地名がやっとわかった。恐らく麻溝であろう。上麻溝、下麻溝では全く面白くない故。



※八景の棚



※下溝駅

⑥15 時 1 分、52 歩ある新相陽橋（鳩川分水路）を渡る。15 時 2 分、下溝踏切を横切る。丁度、橋本方面の電車がやって来るところであった。15 時 7 分、相武台下行きの路線バスが追い越して行く。15 時 32 分、武井バス停前を通過。15 時 37 分、原当麻行きの路線バスと対面する。いつの間にか、相模原市から座間市となる。15 時 47 分、宗仲寺（七福神寿老人）前を通過。この寺の前のメッセージに感動。15 時 48 分、座間神社前

で遅まきながら本日の安全を祈願する。この寺の先を右折した先に相武台下駅（15時57分）があった。茅ヶ崎方面の電車がやって来る。鳩川を挟んで、座間市から相模原市となる。



※宗仲寺、”いのち・人生の標語”



※座間神社、鳩川沿いにある座間市・相模原市の市境標識



※相武台下駅

⑦座間市と相模原市の市境と思われる鳩川沿いを歩く。16時4分、袋小路にぶつかり、右往左往する。運よく地元の方に出会い、入谷駅方面の道筋を教えて頂く。「この道路下を潜って行けば行けます。私もそちら方面に行きます」と教えて頂く。御礼を言って別れる。16時22分、河原宿踏切を横切り、鉄道の右側に出る。その先で座間幼稚園の看板を目にする。16時28分、太陽の家座間前を通過。その先で、遠くに入谷駅を見つける。太鼓型となった道路を上り、手すりを跨ぎ、20m位下に繋がる階段を下り、200m位田圃道を歩いた先に、入谷駅（16時43分）があった。21年前と変化がないので、若干寂しい気持ちとなった。しかし、一方では十数名の乗客と出会ったので、入谷駅の存在価値を確認できホッとした。



※河原宿踏切、遠くに入谷駅



※入谷駅から橋本方面に向かう電車（4両編成）、入谷駅前



※入谷駅



※入谷駅で十数名が乗車

⑧辺りは暗くなりかけているので、当初の予定を変更し、アップする。運よく6分の待ち合わせで、茅ヶ崎行きの電車がやって来る。生まれて初めて相模線に乗車。海老名で小田急線に乗り継いで自宅へ。自宅には17時48分到着。

本日で通算営業キロは**1万2千810 km（歩き日数626日、日本の鉄道の46.2%）**となった。また、暦年では1,219 km（歩き日数60日）と記録更新中である。

第4節 12月20日（月）：入谷～茅ヶ崎 快晴

2021年12月20日（月）快晴、先週に引き続き、相模線（入谷～茅ヶ崎：営業キロ18.9 km）にリベンジ。立ち寄り駅舎写真や到着時刻の不備などによるリベンジは、本日で通算12回目となる。この区間は、2000年10月7日（土）歩いたが、茅ヶ崎から入谷に向けて歩き、本日は逆方向の歩き方となった。それ故、同じ区間ではあったが、多少なりとも新鮮な気持ちで歩けた。



※茅ヶ崎駅で相模線2度踏破！！

本日の歩きで記憶に残っている唯一の箇所は、寒川神社と社家駅界限などなど。それ以外は全く私の記憶から忘却していた。記憶とは如何に曖昧なもとか。一方では、記録の大切さを痛感した。



※海老名駅から入谷駅に移動

50年近く、神奈川県に住みながら、厚木駅が”海老名市”ではなく”厚木市”とずっと思い込んでいた。それが本日誤りと判明する。いい勉強をさせてもらった。つい最近、”小海線”を”小梅線”と勘違いした苦い記憶が蘇った。一方、合併合併が続くご時世、自主独立の寒川町の存在は元気をもらった。

入谷駅から茅ヶ崎駅までの各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

入谷 (8:43) ～海老名 (9:30) ～厚木 (10:07) ～社家 (しゃげ、11:08) ～門沢橋 (11:38)
～倉見 (12:06) ～宮山 (12:53) ～寒川 (13:50) ～香川 (14:38) ～北茅ヶ崎 (15:26)
～茅ヶ崎 (15:50)

①本日は自宅から相武台前駅まではバスで。そして相武台前駅から海老名駅までは小田急で移動。海老名駅にはJR相模線その他、小田急線と相鉄線があった。しかし、ララポートに面した小田急海老名駅からJR海老名駅の間は、300m位はあっただろうか。歩く歩道を利用し、JR海老名駅に向かう。この駅から入谷駅までは相模線で移動。相模線2回の踏破に当り、相模線に乗った路線は、海老名駅から入谷駅までの往復区間となった。相模線は単線のため、相模線の中央に当たる海老名駅で橋本行き（下り）と茅ヶ崎行き（上り）の離合があった。それ故、橋本行きが到着次第、茅ヶ崎行きが発車となった。入谷駅への訪問は、本日で4回目となるが、朝の入谷駅は初めて。入谷駅到着は8時40分頃であった。ホームには、茅ヶ崎方面に向かう乗客の姿があった。駅前には、

沢山の自転車がかった。鉄道の左側の線路沿いを歩く。犬を散歩させている数人と対面する。



※入谷駅から海老名駅への道筋



※海老名駅

農道が終った先が座間市と海老名市の市境となっていた。8時56分、海老名市上今泉という地名となる。9時9分、井戸坂踏切を横切り鉄道の右側となる。線路沿いを歩き、海老名駅には9時30分到着。海老名駅前には10階建位のビルが沢山あった。

②9時42分、上郷第一踏切を横切り、鉄道の左側となる。前方には小田急線があった。厚木駅は相模線のターミナル駅なのか、複数の路線があった。跨線橋を利用し、JR線を跨ぎ鉄道の右側となる。厚木駅には10時7分到着。しかし、道路から小田急線の改札口のみで、JR線の改札口はなかった。すなわち、小田急線の改札口を経由した先にJR線の改札口があった。



※厚木駅への路、厚木駅

③10時17分、新中田踏切を横切り、鉄道の左側となる。その先の神社に本日の安全を祈願する。本日は地図を持参しなかったため、要所要所でネットによる確認作業をしながら進む。10時29分、海老名インター入口交差点に到達。ここから鉄道に近づく。10時37分、中新田赤松原第一公園前を通過。10時46分、SoSiLA海老名前を通過。11時2分、高速道路下を潜る。社家駅には11時8分到着。本日振り返ると、厚木から社家の区間が一番難しいコースであったと思えた。



※日蓮宗常在寺の”あいうえお”挨拶、社家駅への路



※社家駅

④社家駅から少し行った先の境界で、21年前の記憶が蘇る。11時29分、門沢小学校があった。門沢橋駅には陸橋を経由し、11時38分到着。



※門沢小学校、遠くに門沢橋駅



※門沢橋駅

⑤11時42分、大橋を横切る。その先の南門沢橋第二踏切で茅ヶ崎方面の電車が通過する。それにしても、踏切や立ち寄り駅舎で電車との対面が多かった。流石首都圏のダイヤ。地方のダイヤとは大違いであった。11時53分、海老名市から寒川町となる。12時6分、倉見駅に到着。



※水神宮前バス停、倉見駅

⑥12時10分、東海道新幹線下を潜る。12時24分、県道46号線の標識を見つける。12時27分、すき家でランチタイムとする。すき家から少し歩いた先に宮山駅（12時53分）があった。13時、万歩計で69歩ある宮山橋（目久尻川）を渡る。この橋から少し歩いた先に、寒川神社（13時10分）があった。21年前の記憶が若干蘇る。この神社に15分位滞在し、家内安全などを祈願する。



※県道 46 号線の標識、宮山駅



※宮山橋、寒川神社



※寒川神社



※寒川神社、寒川神社参道にて

⑦木々のトンネルが続く寒川神社参道は、「夏場は心地よいだろう」と思いながら歩く。1 km位はあっただろうか。寒川駅には13時50分到着。駅舎は21年前と比べ近代的に様変わりをしていた。



※1 km位続く寒川神社参道



※寒川駅

⑧14時5分、84歩ある寺尾橋（小出川）を渡る。14時23分、北陵橋（駒寄川）を渡る。寒川駅から香川駅も幹線道路に沿った路筋でなかったため、ネットで時々確認しながら進む。お蔭で路に迷う場面にはならなかった。14時25分頃、幹線道路から外れ、路地方面の道筋を歩く。北河内踏切の手前で大掃除をして主婦の方に、「香川駅はこの踏切を渡って行けますか」と尋ねる。「今ある踏切を行った先の交差点を左折し、真っ直ぐ歩いた先に香川駅があります」と教えて頂く。御礼を言ってこの場を去る。14時29分、北河内踏切を横切り、鉄道の右側となり、教えて頂いた道筋を歩いた先に香川駅（14時38分）があった。この駅も微かに記憶に残っていた。



※香川駅への路、香川駅

⑨14時52分、西久保第二踏切を横切り、鉄道の左側となる。運よく、1km位鉄道に沿った路筋が続いていた。14時55分、高速道路下を潜る。15時3分、湘南やまゆり学園前を通過。15時7分、交差点にぶつかり、直進すべきか右折すべきか右往左往する。運よく、通行人の方に出会い、「右折すべき」と教えて頂く。ここでの助言は今回の歩きで大きな援護射撃となった。15時17分、円蔵小学校前を通過。15時20分、千の川を渡る。15時26分、北茅ヶ崎踏切を横切って50m位戻った先に北茅ヶ崎駅があった。駅前には温泉の施設があった。



※この交差点で右往左往、金網越しに北茅ヶ崎駅



※北茅ヶ崎駅、駅前に温泉施設

⑩鉄道の右側を用心深く。2回道筋を通行人にお伺いする。茅ヶ崎駅には15時50分到着する。16時2分の高崎行きで藤沢経由にて自宅へ。本日も天候に恵まれ天や神に感謝また感謝。また、地元の人に大変お世話になった。この場をお借りして熱く厚く御礼申し上げます。



※フコク生命茅ヶ崎営業所前、茅ヶ崎駅への路



※茅ヶ崎駅、16時2分の高崎行きで帰宅の途に

本日の歩きで通算営業キロは、**1万2千829 km (歩き日数 627 日、日本の鉄道の 46.3%)**となる。また、暦年では **1,238 km (歩き日数 61 日)** と暦年の記録を更新中である。